

第19期 第3回 男女共同参画推進懇談会 会議要録

- 1 日時 平成30年11月5日(月) 午後2時~4時
- 2 場所 練馬産業振興センター研修室
- 3 出席者 松井会長 井上副会長 岩脇委員 大橋委員 川人委員 佐藤(敦)委員
小林(明)委員 小林(澄)委員 藤多委員 木谷委員 楠井委員 丸田委員
吉田委員 河原委員 佐藤(良)委員 濱田委員 山内委員 鷲尾委員 堀委員
小西委員
事務局職員(人権・男女共同参画課長 男女共同参画担当係長 相談支援担当係長
男女共同参画担当係員)
- 欠席者 持田委員 石塚委員 西委員 岩本委員

4 公開の可否 公開

5 傍聴者 0名

6 議題

(1) 会長 開会のあいさつ

(2) 議題

第2回男女共同参画推進懇談会の会議要録(案)について

別紙1

「第5次練馬区男女共同参画計画」策定に向けての提言(案)について

別紙2、3、4

(3) 報告事項

「人権・男女共同参画に関する意識と労働実態調査」集計結果について

別紙5

(4) その他

次回会議の日程

その他

9 参考資料

別紙1 第19期 第2回 練馬区男女共同参画推進懇談会 会議要録(案)【事前送付済】

別紙2 第19期 練馬区男女共同参画推進懇談会 専門部会委員名簿

別紙3 「第5次練馬区男女共同参画計画」策定に向けた各専門部会の提言
【事前送付済】

別紙4 体系図 【事前送付済】

別紙5 「人権・男女共同参画に関する意識と労働実態調査」の集計結果
(平成30年10月末現在の単純集計)

10 会議の概要

○ 開会

会長第3回男女共同参画推進懇談会(以下「懇談会」)を開催する。

出席の状況と配布資料の確認を事務局から行う。

(事務局より出席説明、配布資料確認)

議事

会長 それでは議題に入る。

議題 第2回男女共同参画推進懇談会の会議要録(案)について

会長 第2回男女共同参画推進会議要録(案)を既に配布しているが、訂正はあるか。小さな修正は事務局で修正し、大きな修正は懇談会で確認してから修正する。現時点では修正なしとのことであるので、確定後、練馬区ホームページに掲載される。

それでは、次の議題に入る前に「人権・男女共同参画に関する意識と労働実態調査」集計結果について(別紙5)事務局から説明をお願いする。

報告事項 「人権・男女共同参画に関する意識と労働実態調査」集計結果について

人権・男女共同参画課長(3)報告事項「人権・男女共同参画に関する意識と労働実態調査」集計結果について(別紙5)説明(説明省略)。

会長 何か質問等はあるか。

委員 別紙5-3の10頁の問13のウとエの数値が全く同じだが、これは間違いなのか全く同じ結果なのか。

事務局 確認して回答する。

議題 「第5次練馬区男女共同参画計画」策定に向けての提言(案)について

会長 それでは議題「第5次練馬区男女共同参画計画」策定に向けての提言(案)について(別紙2、3、4)について事務局から説明をお願いする。

事務局 「第5次練馬区男女共同参画計画」策定に向けての提言(案)について(別紙2、3、4)について説明する(説明省略)。

会長 議論に入る前に各部会から各提言のポイントや特徴について数分程度で説明してもらいたい。

委員 各部会の部会長もしくは副部会長からの提言についての説明(説明省略)。

会長 他の部会の提言を見るのも初めてだと思うので、今日は時間の許す限り大枠や文言についてなどできるだけ多くの意見を出す場にしたいと思う。今後の進め方として、今回会議の簡易議事録としてまとめたものを再配布したいと思う。それを踏まえて部会長へ一任し部会ごとに修正したものを事務局へ提出していただいて、また提言を合体させるやり方を考えている。まとめる際に枠組みについて、例えば目標-1、-2というように変則的なものになっている。前書きとして、DVについては大きい項目のため、独立させてほしいということでこの形になっている。来年度は計画を作るため形の整ったものが望ましいが、今回は提言のため区民の要望としてある程度重複してしまうこともやむをえないと考える。まずは、提言の枠組みについてこの枠組みでいいのか議論していただきたい。

委員 目標-2の「暴力のない社会を目指して」を独立させてはどうか。また、パートナーシップ制度については「暴力のない社会を目指して」の部分に入れるのはどうか。

委員 パートナーシップ制度は暴力ではないので、目標-1に入るのではないかと。目標-2の「暴力のない社会を目指して」を独立させるのには賛成である。

委員 別紙4でいうところの目標2「地域活動での男女共同参画の促進」と目標-1-2「家庭・学校・

地域の場における男女平等教育の推進」のところが被っているため、まとめてもよいのではないかと思う。また、目標 -1-1 の暴力の根絶の部分は先ほどの話にもあったように、「暴力の社会を目指して」ということで独立させるならば、そちらに入れてもよいと思う。

委員 目標 -1-1 の暴力の根絶の部分の暴力は差別という形で表現されているので、差別という表現にして、暴力の部分は独立させるのでよいのではないか。

会長 今話を少しまとめると、目標 -2 の「暴力のない社会を目指して」を独立させてはどうかということと、パートナーシップは目標 -1 に入るのではないかということ。また、目標 2 「地域活動での男女共同参画の促進」と目標 -1-2 「家庭・学校・地域の場における男女平等教育の推進」のところが被っているためまとめられればまとめる。目標 -2 の「暴力のない社会を目指して」を独立させる方向でいきたいと思う。それではいったん枠組みについては終わりにして、個々の内容に移っていききたいと思う。

委員 目標 の「生涯を通じた心とからだの健康を支援する」という部分に、もう一項目「スポーツ分野における男女共同参画の推進について」を入れたい。

会長 その件に関しては部会に持ち帰って検討していただきたい。

委員 提言全体のバランスを見たときに、はじめにの部分の長さがバラバラなのはどうかと思うがいかがか。

会長 ある程度の調整は必要になると思うが、見やすさのために字数制限を設けるといのは私としては考えていない。

委員 パートナーシップ条例という言葉の説明がないので、何のことを言っているのか分からないのではないかと思う。異性間でも婚姻関係にないから不利益を被っているということも含めて説明文を入れたい。

会長 最初の部分が大きいと読みにくさなど機能的な部分でどうかという意見があるが、言うべきこともきちんといれるべきという意見もある。

委員 誰に向けてこの提言を作るのかということを確認することが長さのことよりも重要なのではないかと考える。

委員 第3部会の部分では法律の変わったところや調査で出てきた数値を入れたり、分かりにくい部分を修正したりという作り方だった。まだ提言を完成させる段階ではないので、今後また部会に持ち帰って分かりやすいものに修正していけばよいのではないかと考える。

会長 提言なので、基本は区にこのような形で計画を策定して欲しいということで出すものである。

PDF でホームページにも掲載されているため、そういった点では区民に向けてのメッセージとして読みやすさも必要になる。

委員 全員が同じ内容のものを見られるようにすれば、部会ごとの差が激しくならないのではないか。例えば部会・副部長会議を開くなどはどうか。

会長 部会長・副部長に修正してもらった後に必要があれば、部会長・副部長会議を開くというのを考えている。それでは頭から中身についてのご意見等を伺いたい。

委員 別紙3-1の1頁1行目の「男女が社会の対等な構成員として」という部分で「男女が」という表現は多様性が求められるなかではふさわしくない表現に思う。また、3行目の「責任を担うべき社会」

の部分は責任がなにか分からないのでこの表現はやめていただきたい。その下の「習慣やしきたりとして残っている」という部分は残っているからこういう状況だという説明がないので、意味がよく分からない。その下の段落の3行目に「特定の生き方を前提としない」の「特定の生き方」が何なのか分からない。2頁の5行目の「尊重する」は「尊重される」という表現にすべきだ。一番下の段落の「父親・母親」という表現もジェンダーの視点からすると、他の表現に変えるべきと考える。下の提言3番の「恋人」という表現も変えていただきたい。細々とした表現で気になる部分があるので検討していただきたい。

会長この後に意見書を皆様に提出していただく機会がある。なので、細々した修正についてはそちらに記入していただきたい。時間に限りがあるので、この場では大きなことに関してや議論しておきたいことについて意見を伺いたい。

委員別紙3-7の2頁の課題2の提言5番に「男女共同参画推進条例設置の検討」とあり、これは男女共同参画を進めるうえで重要な条例となるので、もっと大きなところに記載するのはどうか。条例に基づいて男女共同参画に関する苦情処理や委員会を設置できるので、もっと大きく扱った方がよいと思う。

委員今の部分で課題2を目標の筆頭の課題にすべきではないかと思う。庁内の男女共同参画の推進も大事だが、まずは推進体制の充実と強化が先ではないかと思う。

委員「男女共同参画推進条例設置の検討」については、前回の踏襲でこの位置にあるが、男女懇の共通意見として「男女共同参画推進条例設置の検討」を課題に入れるということであれば入れようかと思う。皆様の意見を伺いたい。

委員提言に記載したことですぐに実現するものではないが、要望として載せるということではよいのではないか。

委員別紙3-1の4頁の8行目の「生理中の女性」の「生理」という表現は、性教育の観点から別の表現に直していただきたい。

委員そもそもの話になるが、配偶者暴力防止についてDVの相談に関わっている専門員などがないこの場で決めていいのか。

事務局最低限必要だと思うことは入れていただければ、計画を作る際の検討材料になる。配偶者暴力の連携会議というのがあり、計画になる前にその会議へはかける。

委員男女共同参画を進めるうえで条例設置と首長の宣言が非常に重要になってくると思う。首長に宣言してもらいたいという要望は入れてもいいのか。

委員首長の宣言をするかどうかは別にして、要望として記載することは構わない。

委員入れるのであれば目標でよいか。

委員東日本大震災のときによく言われていたことが、中心を担うところに複数の女性がいなかったことである。別紙3-5の6頁の提言には危機管理室に女性管理職がないということが書かれているが、災害のときの防災会議にも複数の女性を入れたりするなどいろんな場面で女性が必要であるという文言をいれるとよいのではないかと思う。また、7頁の避難所の部分で、文京区は妊産婦に特化した避難所を作っている。女性に特化した避難所を作るという文言をどこかに入れたい。女性だけを集めた避難所を作るというよりは、日中にどこかで下着を遠慮なく干せたり、ホッと一息できるような場が避難所の近くなどにあればよいと思う。それから、別紙3-4の課題2の「意識改革に留まらない実効力のあ

る施策を実施すべき」のところは、もっと具体的な施策への提言でなければ、実効力がないものになるのではないか。

委員今のワーク・ライフ・バランスの部分で4頁の1番上の提言1の部分は当たり前のことを書いてあるので、わざわざ提言に乗せなくてもよいのではないか。課題3の提言2番でメリットとは認定を受けることでどんなメリットがあるのかが分からない。提言3番の「評価の高い施策」とあるが何を基準に「評価の高い」とするのかが分からない。もう少し具体的に書いてほしい。また課題4の提言2番で「～女性に対しては子育て支援事業計画への具体的な施策を促進する」とあるが、子育て支援事業計画への具体的な施策は女性に特化したものではないので、女性だけに限定するのはどうかと思う。

委員別紙3-5の6頁の課題4女性の視点・ニーズを取り入れた防災体制の強化は女性の視点を重視しながら詳細の部分を入れていきたいと考えた。

会長たくさん意見を出していただいたということで、今後は今日の議論を踏まえて部会長・副部会長には提言を書き改めていただきたい。また、今日の議論で発言できなかった部分を含め皆さんには意見書をご提出いただきたい。1月中には提言の原案を完成させ、それに対する意見を聞き、3月の会議では提言を承認するという流れでいきたいと考えている。

その他 次回会議の日程

会長次回の開催は3月12日(火)午前10時から正午とさせていただきたい。会場は区役所本庁舎20階交流会場となる。

その他(2)その他

会長その他の意見等はあるか(意見等なし)。

(副会長から閉会の挨拶・省略)